



# 碧南ロータリークラブ週報

第2469回例会 平成21年9月2日(水)

● 会長 鈴木 並生 ● 幹事 棚田 道和 ● 会場監督 (SAA) 新美 真司

■ 例会日 毎週水曜日 12:30

■ 例会場 碧南商工会議所ホール

■ 事務局 碧南商工会議所内

〒447-8501 愛知県碧南市源氏神明町90

TEL<0566>41-1100 FAX<0566>48-1100

ホームページ: <http://www.hekinan-rc.jp/>

E-mail: [info@hekinan-rc.jp](mailto:info@hekinan-rc.jp)

■ 会報委員 岡本明弘・新美雅浩・大澤明敬・西脇博正



## ● 斉 唱

国歌「君が代」

ロータリーソング「奉仕の理想」

## ● 四つのテスト唱和

## ● 本日のメニュー

和風弁当 大正館

## ● 本日のお客様

地区新世代委員会

加藤康治様 (一宮中央RC)

地区インターアクト委員会

安藤幸司様 (岡崎南RC)

安城RC 沓名令亨様



鈴木並生会長



## 会 長 挨拶

先週、ガバナー補佐訪問が無事終わりました。皆様方には大変ご心配をかけたことと思います。各委員長さんをはじめとする全員の方のご協力と平岩直前会長の適切なアドバイスにより第一関門を無事通過することができました。そして来週は、第二関門のガバナー公式訪問です。9月8日の火曜日、グランドホテルで例会が開催されますので、お間違いのないようにご出席下さい。今回のガバナー訪問は、高浜ロータリークラブさんの設営ですので、多少、気楽な面がありますが宜しくお申し上げます。また、先週のニコボックスには石川様より、中京大中京の全国高校野球選手権大会優勝に際し沢山ご協力を頂きありがとうございました。石川様よりご提案のありました監督の卓話の実現できるように、プログラム委員長さんと日程調整のほどを宜しくお願ひ致します。

さて、8月30日の衆議院選挙では民主党が予想通りというか、予想以上というか大勝しました。選挙の結果や、今後の行方については、私より皆様の方が詳しいと思いますので止めまして、選挙報道について感じたことを少しお話をさせて頂きます。最近では出口調査の精度が非常に良くなり開票が始まると同時に当選確実がどんどん出る次第です。8時20分頃テレビのチャンネルを点けたらもう当確がどんどん出ていました。私は出口調査に出会ったことはありませんが、皆正直に自分が誰に投票したか答えているのだなあ！と感心しました。開票率0%で当選確実も何か釈然としませんでした。それと比例区で得票に対して候補者不足の時は他の党に権利を譲るという制度も何か変な制度だと思いました。定数にこだわらなく欠員の方が良いような気がしました。

いずれにしても、民主党政権になれば我々の生活・商売にいろいろな影響・変化が出てくるとお願ひします。しっかりとした対応が必要ではないでしょうか。とりとめのない話をしましたが

以上で挨拶を終わります。

## 幹事報告

- ・例会変更等は別紙幹事報告書の通りです。
- ・本日例会終了後に第3回理事会を開催致します。
- ・次週9月8日はガバナー公式訪問です。衣浦グランドホテルで12時30分から開催致します。



棚田道和幹事

## 委員会報告

### 〈出席奨励委員会〉

総会員数77名(内出席免除者15名の内出席者11名)出席者60名	
出席対象者 60/72名	出席率 83.33%
欠席者17名(病欠者1名)	前々回修正出席率 100%

※三週連続出席率100%の場合は記念品を差し上げます。

### 〈ニコボックス委員会〉

地区新世代委員会 加藤康治様 本日は宜しくお願い致します。

神谷 研君 長らく欠席しました。皆さんにご迷惑をお掛けしまして申し訳ありません。入院中はご多用の中を鈴木会長さん、棚田幹事さんのご丁寧なお見舞いを賜り恐縮至極になりました。老齡の為か体力の回復が遅くて長い間欠席を致しました。すみませんでした。

新美 宗和君 8月23日(日)にありました、カラオケ大会「歌と舞の祭典」が盛況の内に終わることができました。来年は26回目です。宜しくお願いします。

新美 惣英君 本日、卓話の講師 地区新世代委員 加藤康治様をご紹介致します。

角谷 信二君 良い事がありました。

竹中 誠君 来る10月4日(日)午後1時より商工会議所にて、ペマギャルボ先生の講演会があります。会員の皆様方のご聴講をお願い致します。

### 〈親睦活動委員会〉

#### 会員誕生日

5日 西脇 博正君 12日 長田 豊治君 13日 岡本 明弘君 19日 竹下 聡君  
20日 大澤明敬君

#### 奥様誕生日

15日 長田 和徳君の奥様真由美様 19日 神谷 研君の奥様文子様  
21日 竹中 誠君の奥様みのり様 24日 長田 徳雄君の奥様利子様  
25日 石川 唯司君の奥様紀代子様 26日 森田 雅也君の奥様千恵子様

#### 結婚記念日

23日 石橋 嘉彦君・里美様 27年 24日 黒田 昌司君・みゑ子様 30年  
26日 山中 寛紀君・恭子様 27年 30日 鶴田 光久君・美奈子様 31年

#### 入会記念日

4日 岡田越勇君 5日 鈴木昭洋君 18日 神谷 研君

## 卓話

### 「新世代委員会活動の理念と実践」

地区新世代委員会 加藤 康治氏

9月は新世代月間です。貴重な例会時への時間を地区新世代委員会に卓話の時間として頂きありがとうございます。皆様のお話の中で新世代のことがよく理解できないと言うことを伺います。

各委員会組織より簡潔にご説明申し上げます。新世代委員会は、以前は青少年活動奉仕委員会としての名称でした。1996年～1997年度のIR 会長ルイス・ビセンテ・ジア会長はService to youth（青少年の奉仕）～Rotary's Programs For New Generation（新世代のためのロータリー・プログラム）と改正しました。ロータリーの奉仕からロータリーとしての責務として一段と力強い表現へと変わっております。



2007年度版の手続き要覧に使命（Mission）として各ロータリアンの使命は年齢30歳までの若い人全てを含む新世代の多様なニーズを認識しつつ、よりよき未来を確実なものにするために新世代の生活力を高めることによって新世代に将来への準備をさせることである。

これから地区での新世代関連委員会に於いての概略を申し上げます。地区委員会には新世代委員会、小委員会としてインターアクト委員会・ローターアクト委員会・ライラ委員会があります。当地区では、皆様方より多くの浄財を事業費として頂いております。青少年活動事業資金お一人当たり2,500円×5,000人=12,500,000円であります。

インターアクトクラブは高校生若しくは地区内に活動拠点を置く14歳～18歳までの青少年のためにロータリークラブが提唱する奉仕クラブです。IAクラブは現在15クラブ、今年度は稲沢ロータリークラブがホストクラブになって稲沢啓成高校に誕生いたします。15クラブ350名余。1988年から20回にわたり756名のインターアクターが海外研修1週間に於けるホームステイを含め多くのことを経験しております。残念ながら今年度は新型インフルエンザの影響で急遽海外研修を中止し、豊川ロータリーの特別な計らいで国内研修に変更し永平寺に行っていました。IAの海外研修が始まって初めての変更です。

ローターアクトクラブは地区内9クラブ（156名）18歳～30歳までの青年男女で構成され、新世代のためのロータリー・プログラムに属する奉仕活動であり奉仕と理想を志向する市民と指導者の育成を図る。ローターアクトの目標には、「専門技術および指導能力の開発」が挙げられ、ローターアクトの例会や理事会にはロータリアンの同席が求められ彼らの自主的で意欲的なプロジェクトの実施に力を貸すことが求められます。2005年の状況ですが世界158カ国で8,000余のクラブで185,000人の会員があります。1967年に米国ノースカロライナ州（シャーロット）で承認され翌年には1968年当地区岡崎ローターアクトクラブが創立いたしております。大変歴史があります。当地区の初担当ロータリアンは伊藤次郎左衛門氏です。ローターアクトも毎年海外研修を致しております。先の9：11同時多発テロには海外研修は中止し国内研修に変わった経緯があります。

ライラ（RYLA）はご存知のごとくRotary Youth Leadership Award（ロータリー青少年指導者養成プログラム）そもそも、1959年、オーストラリア、クーンランド州の時事権獲得百周年委員会にイングランドよりアレクサンドリア王女が臨席され、王女と同世代の青年たちを招き、語らいの場所を作ろうとしたブリスベンロータリークラブが発端とされています。当地区では1990年パストガバナー故中村茂男氏より始められました。本来は、数名の14歳～30歳までの若者にキャンプ方式で数日に渡ってロータリアンが自らを模範として、倫理・奉仕・親睦の理念に基づいて学ぶ機会を与える。当地区では各クラブから2～3名の若者の派遣をお願いし1泊2日の日程でセミナーを行っております。3年前より（斉藤パストガバナー時）ライラ受講生の中から、2名を6月に開催されます世界大会直前に開催されます世界ライラ会議に出席することが出来るようになりました。

さて、今までは新世代委員会の委員会関連事業について簡単にお話いたしました。これから本日のテーマであります「新世代委員会活動の理念と実践」について、お話致します。多くのクラブや会員の皆様から新世代委員会の主旨・目的がよく解らないといわれます。本日は新世代

委員会についての基本理念を中心に、その実践の事業についてお話致します。国際ロータリーの奉仕事業は、大きく分けると二つに分類できる奉仕と思われれます。一つは飢餓・貧困への救済、もう一つが青少年健全育成事業です。この青少年健全育成事業を担当する委員会が新世代委員会です。ロータリーで言う新世代は0歳～30歳の青少年達をさします。ロータリーの奉仕活動のほとんどが新世代向けの奉仕活動です。新世代対象事業活動のIAC活動・RAC活動・RYLA活動・青少年交換活動・米山奨学・財団奨学などほとんどが青少年達の健全育成事業です。ロータリー財団が最も努力を進めるポリオプラス・識字率向上・水問題・WCSで現地学校建設・井戸の掘削事業です。特に近年は、国際ロータリーは青少年健全育成の支援プログラムに主力を傾けております。このプログラム（青少年育成）事業は、その結果の現れは将来的で事業結果も不透明です。決して数値で測ることが出来ない未確認の必然性が存在する事業であります。ロータリーの貴重な浄財を使い、いかほど心血を注いでも速やかにその結果を追求することは困難である現実を承知し未来に向けて成果を託すことが青少年健全育成事業です。このことが理念であり摂理と考えます。将来、成長した彼らの姿に接し、ロータリー自らが、何を感じ何を思うか、自己判断の現実が存在するのみです。これが国際ロータリーの青少年育成事業の現実在り方と理念です。我々一般の事業経営者の多くの方々が感じる「費用対効果」の概念です。青少年達への結果の不透明で不確実な事業に、クラブ会員の貴重な浄財を資金として青少年健全育成活動を継続して行うことがロータリーの確かな理念と行動力をご理解下さい。一般の企業や、利益追求の組織体では、費用対効果の課題という壁に阻まれ継続的に行うことが出来ない青少年達への投資です。ここに私たちロータリアンが課せられた責務が存在します。青少年に対する事業が、国際ロータリーの新世代育成事業に対する理念の崇高さを痛感させられる現実が存在致します。皆様の貴重な浄財と心血を注ぎ続け、何時か若木の芽が出ることを遠望するプログラムです。故に、私たちロータリアンは青少年たちに対して無関心さと傍観者であってはなりません。

今、ロータリーは幾多の年月を重ねてまいりました。将来への希望は、青少年達にあります。今、彼らに対して傍観者であってはなりません。彼らに対して無関心であってはなりません。若い青少年に対する私たちロータリアンの責務は青少年達の自主性を重んじ、彼らの思いを損なうことなく、ロータリーの心を伝え理念を指導することが重要と感じております。どうぞ若い人と接してみてください。そして、私たちロータリアンも彼らから若いオーラを受けてください。機会あるごとに例会に青少年達（IA・RA・RYLA）との対話の機会をお願い致します。

**次回例会案内平成21年9月16日（水）18:00～**  
**インフォーマルミーティング 会場：衣浦グランドホテル**